

福岡エリア 市況レポート

欧米から遅れること2カ月、国内でも新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。感染者数も減少傾向に向かっており、ここにきてようやく明るい兆しが見えてきました。ただ、3月4月は新年度、新学期等で人の動きも活発になる月ですのでまだ予断を許さない状況であることは変わりません。

新型コロナウイルスは人々のライフスタイルを大きく変化させようとしています。私たちの生活に必要なものとして従来から「衣・食・住」というのが常識的なものでしたが、コロナ禍により「医・職・住」に関心の対象が変わってきていると言われています。コロナ禍でも変わらないのが「住」であり、テレワークで自宅で過ごす時間が多くなり、住宅に対する関心が高まってきています。福岡市もテレワークを推奨しており、通勤者を削除する為にテレワーク環境を構築される中小企業等の皆さまに対し、支援金を最大50万円支給を行っており、支援金支給以外にも、テレワーク導入のための疑問にお答えする無料電話相談窓口も設置されています。今後、テレワークが進んでいけば在宅勤務に必要なお部屋が出来たりとこれからの時代へまた新しい間取りが主流になっていくかもしれません。2月の不動産市況も住宅への関心が高まったこともあり1月に続き、売却不動産が不足しています。また、コロナ禍の今は、「売り時ではない」と考える人が多く、売却を先延ばしにしている人が多いのも要因です。しかし、売り物件が少ない今は競合物件が少なく「売り時」でもあるのです。不動産の売却はタイミングが非常に重要です。もしご利用されていない不動産をご所有でしたらこのタイミングで1度売却の査定をしてみたいかがでしょうか？